

日常的に暴力を受けていても、それがDVだと感じていない場合があります。配偶者から蹴られる、たたかれる、乱暴な言葉を浴びせられるなどの行為があれば、それはDVです。たとえ今は優しくて、暴力行為を繰り返すようであれば、ためらわずに相談してください。

「今は」優しいから大丈夫？
ちょっと待って！
DVのサイクルを知っていますか？

DVは自分たちだけで解決するのは難しい。だから、一緒に考えてくれる相談窓口相談してみよう。プライバシーはちゃんと守られるよ。

つなぐ はやく
DV相談+
0120-279-889 (24時間受付)
メールやチャット相談もあります。
URL: <https://soudanplus.jp>

パートナーだからあたりまえ？
ちょっと待って！
それってデートDVかも

相手のことが「怖い」
一緒にいるのが「ツライ」
2人は対等なのにそんな関係、おかしくない？

DVは自分たちだけで解決するのは難しい。だから、一緒に考えてくれる相談窓口相談してみよう。プライバシーはちゃんと守られるよ。

交際中の相手を怖く感じても、嫌われるかもしれないからとがまんしていませんか。

周りに悩んでいる人がいたら声をかけて話を聴いてみて。相談できる場所があることも知らせよう！

内閣府
ディーブイそうだんプラス
DV相談+

つなぐ はやく
0120-279-889 (24時間受付)
メールやチャット相談もあります。
URL: <https://soudanplus.jp>

女性、こころの悩み電話相談 ☎047-485-7333 (相談専用電話)

つらい、苦しい、眠れない…。あなたの悩みを、専門の女性相談員が匿名でお聞きします。
【相談日】毎週火・金曜日 午前9時～午後4時 (祝日・年末年始12月27日～1月4日を除く)
電話が繋がりにくい場合は、時間をあけてもう一度かけてみてください。

男女共同参画だより やちよあ (No.43 令和3年早春号)

【発行】八千代市男女共同参画センター
電話：047-485-7088
FAX：047-485-7398
所在地：八千代市八千代台南1-11-6 (八千代台南南公共センター4階)



No.43
令和3年
早春号

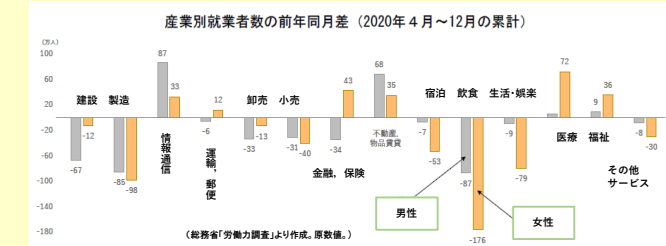
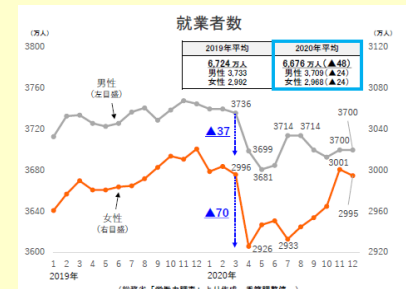
女性が置かれている深刻な状況 先が見えない新型コロナウイルス感染症



世界初の新型コロナウイルス感染症例をWHO (世界保健機関) が公表したのは2019年12月のこと。その後、都市封鎖、パンデミック、学校の一時休校、緊急事態宣言、史上初のオリンピック・パラリンピックの延期など事態は変化しつづけ、未だに先行きは見えません。最近、データから女性が置かれている深刻な状況がわかってきました。

非正規の就業者に大きなダメージ

内閣府では、令和2年9月に第1回目の「コロナ下の女性への影響と課題に関する研究会」を開催しました。令和3年3月までに8回開催されていますが、様々なデータから性別の違いによる課題が浮き彫りになっています。その一つが、女性就業者数の減少です。令和2年4月のピーク時には、男性の約2倍の落ち込みとなりました。働く女性の半数以上は、パートタイマーなどの非正規雇用労働者です。外出自粛や緊急事態宣言による休業・時短営業などでダメージを受けた飲食・宿泊業などのサービス産業に女性が多いことが追い打ちをかけた。



女性の家事・育児の負担が増加

新型コロナウイルス感染拡大による、外出自粛や学校の一時休校などは、生活面・就労面で特に女性に大きなマイナスの影響を与えました。テレワークが普及したことで、家事・育児等の負担が増えたと感じている人たちもいます。

これは、日本に限ったことではありません。国連では令和2年4月に、グテーレス事務総長がコロナ対策において女性・女の子を中核に据えるよう声明を発表しています。国連女性機関は令和2年11月の報告書で新型コロナウイルス感染拡大によって、世界各国で家事や子育てといった家庭内の無償労働が女性に偏っていることを明らかにしました。女性の一日の無償労働は4時間を

超え、男性の3倍になっています。負担増が目立つのは子どもの身の回りの世話で、そのほか、料理や掃除、洗濯、買い物などがあります。コロナ禍によるしわ寄せを女性が受けることになり、男性との格差がさらに広がっています。



DV・性暴力の増加と深刻化

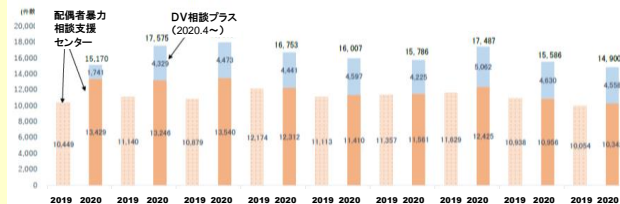
外出や会食の自粛などが続いていることで、以前より自宅で過ごす時間が増えました。生活や先行きに対する不安などから、DV被害に関する相談が増加しています。

家族以外の人との接触が減ったため、被害がより表面化しにくくなり、事態が深刻化することが心配されています。令和2年4～12月のDV相談者は、

前年の同じ月に比べて約1.5倍に増えました。また、性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センターの相談件数も、4～9月は前年比で15.5%増加しています。女性が暴力の被害を受ける割合は、いまだに高い状況が続いています。

DV相談件数の推移

DV相談件数の推移を見ると、2020年4月から12月の相談件数は、14万7,277件で、前年同期の約1.5倍。既に昨年(2019年度)全体の相談件数(11万9,276件)を大きく上回っている。



出典「内閣府男女共同参画局調べ」※全国の配偶者暴力相談支援センターからの相談件数は、2021年1月25日時点の暫定値。

エッセンシャルワーカーの厳しい状況

働く環境や処遇が厳しい、医療・介護・保育の従事者などのエッセンシャルワーカーは、女性が多く人手不足が深刻です。

そのうえ普段とは全く違う対応が必要とされる中で、終わりが見えない状況が長く続いていることから、体力的にも精神的にも疲労が蓄積しています。

感染するリスクや周囲に対する複雑な気持ちを抱えながら、自分たちがやらなければという強い使命感を持って従事しているにもかかわらず、本人や家族が差別を受けることがあります。周りの人たちからの心ない言葉や、距離を置くなどの差別的な態度は、命や生活を支えるために頑張っている人々を深く傷つけます。

さまざまな不安が、このような差別や偏見を生み出すことがあります。しかし、こうしたときだからこそ、感謝と助け合いの気持ちを持って、乗り切っていくことが大切です。

心配や悩みごとがあるときには無理をせずに、公共機関などで行っている各種相談に電話をかけてみてください。

◆市内での予防接種について◆

市内の新型コロナウイルスの予防接種は、医療従事者の接種を先行し、65歳以上から順次ワクチン接種ができるように準備を進めています。接種の予定や手続きについては、市コールセンター☎0570-001-098(平日8:30~17:15)へ。

※令和3年3月1日現在です。詳しくは市HPをご覧ください



困ったときは相談を

≪祝日はお休みです≫

※令和3年3月1日現在です。状況によって内容や時間が変更になる場合がありますので、市HPで確認してください

対応内容	相談先	相談日時	連絡先
生活困窮者自立支援制度に関すること	八千代市福祉総合相談室	月曜～金曜日 8:30～17:00	☎ 047-421-6732 Fax 047-483-2665
生活福祉資金貸付制度など	八千代市社会福祉協議会	月曜～金曜日 8:30～17:00	☎ 047-483-3021 Fax 047-483-3083
国民健康保険料の減免に関すること	八千代市国保年金課	月曜～金曜日 8:30～17:00	☎ 047-421-6743
介護保険料の減免に関すること	八千代市長寿支援課	月曜～金曜日 8:30～17:00	☎ 047-421-6733
市税などの納付に関すること	八千代市納税課	月曜～金曜日 8:30～17:00	☎ 047-421-6726 047-421-6727
新型コロナウイルス感染症について心のケアを含めた相談	千葉県精神保健福祉センター	月曜～金曜日 9:00～18:30	☎ 043-263-3893
自殺など精神的な危機に直面し、助けと励ましを求めている人の相談	千葉いのちの電話	月曜～金曜日 9:00～17:00	☎ 043-227-3900